

平成28年度学校評価結果

愛知県立瀬戸西高等学校

前年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の特性に応じたきめ細やかな指導の推進</li> <li>基本的な生活習慣及び学習習慣の確立</li> <li>生徒の自主的活動を通しての活力ある学校づくりの推進</li> </ul>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
PTA活動 広報活動 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA活動の充実と活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA活動の充実と活性化に努める。</li> <li>学校案内や広報誌の内容を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA委員の皆さんには積極的に活動に参加していただき、これまで以上にPTA活動を充実させることができた。</li> <li>学校案内や広報誌の内容を吟味し、今までより紙面を見やすくし新しい感性を活かしてデザインも一新した。</li> </ul>
学習指導 (教務部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律の徹底と学習習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始から終了まで、授業中のルール・マナーを守らせる。</li> <li>家庭学習時間を確保させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のマナーについては概ね良好で、開始・終了の時間もよく守れた。</li> <li>家庭学習時間については、一部の生徒を除いて多くの者が不十分で、最低限のことはするのが精一杯という状態である。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>きめ細かな学習指導を徹底する。</li> <li>成績不振に陥る者を極力減らす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科、学年との連携により課題、小テスト等を用いて、かなりきめ細かい学習指導をすすめることができた。</li> <li>不振科目を抱えた生徒は、面談をくり返すことで一定の改善効果がみられたが、まだまだ学習不足による成績不振は減らすことができると思われる。</li> </ul>
生徒指導 (生徒指導部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話、スマートフォンの使用マナーを徹底させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昼休み以外は終礼まで使用しないという指導を始め、おおむね定着させることができた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「0の日」交通安全運動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立番などでの交通安全指導や、交通安全講話などを行ったが、近隣から、マナーについての連絡や、事故の件数は多かった。今後も継続して指導していく必要がある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共心の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校集会等で、集団生活においてルールを守ること、身だしなみを整えることの必要性を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に比べ、遅刻者数が減り、集団生活のルールを守ることのできる生徒が増加した。今後も継続して指導していきたい。</li> </ul>
特別活動 (特活部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の充実と主体的な取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校祭において、意義や内容を理解させ、生徒の自主的運営を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会執行部及び各委員会が主導して、企画・運営を行うことができた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会執行部を定期的に招集し、学校行事を組織的に運営する方策について議論させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に生徒議会を開催し、各ホームルームへの連絡を密に行うことができた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧問と生徒との連携を密にとる。</li> <li>部活動日誌を活用して情報交換、意見交換の場とする。</li> <li>部顧問会を実施し、情報共有を密にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部長会を定期的に開催することで部活動の充実をはかることができた。</li> <li>ケガ防止や安全対策の講習会などを充実させたい。</li> </ul>
進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路意識の高揚を図るための進路情報の提供</li> <li>大学進学者を増やす</li> <li>個々の生徒の進路希望実現を目指してのあきらめない、あきらめさせない指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路室の学習環境を充実させる。</li> <li>個々の生徒の希望に即した進路指導を実施し、個々の適性に合った様々な入試に挑戦させることで私大への合格者を確保し、さらには国公立大への挑戦を促す。</li> <li>授業、補習、LT等を通じて最新の進路情報をタイミングよく伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望実現のために随時適切な進路情報を提供し、進路意識を高めさせるよう努力した。</li> <li>常に学年団の先生方と連携を取り、新しい入試方式や制度の情報を随時流すとともに、過去のケースの指導法など具体例も紹介しながら、先生方との情報共有を密にした。進路部の指導方針は理解され、円滑に進めることができたと思われる。</li> <li>安易な進路選択に流されず、自分の納得がいくまであきらめずチャレンジするよう指導した。</li> </ul>
保健指導 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境の整備と美化活動の推進</li> <li>防災への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一斉清掃の推進・ゴミ分別収集の徹底。</li> <li>防災の知識の普及と積極的取り組みへの指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震工事、教員監督数の関係で掃除の場所の人数が多く、機能しない場所もあり、改善が必要である。</li> <li>防災活動を継続していくことが今後の課題である。</li> </ul>
教育相談・特別支援 (相談部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心のアンケート」の実施</li> <li>「心のアンケート・セルフチェック」の実施</li> <li>相談委員会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校生徒のメンタルヘルスを調査・分析。</li> <li>本校生徒自身に心身の状態を再認識させ、その向上・改善をはからせる。</li> <li>不登校傾向や悩みを抱えている本校生徒について、情報を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議にて「心のアンケート」の分析結果を提供した</li> <li>「心のアンケート」のポジティブ項目も合わせ、生徒の良い部分を提示することで、メンタルヘルスの改善に関わる情報を提供した</li> <li>昨年度に引き続き、校長・教頭・学年主任・教務主任・生徒指導主事・相談主任・養護教諭により生徒を多面的に考察・配慮した</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
図書館活動 (図書部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書に親しむ豊かな心の育成</li> <li>図書館の整備・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な企画、広報活動の充実によって生徒の読書に対する興味・関心を高める。</li> <li>購入図書を選定して、学校図書館としての利用価値を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館便りのリニューアル、イベントの開催や、展示会などの影響で来館者は多かった。親しみやすい図書館になりつつあるが、本の貸し出し冊数には結びついていないのは課題である。</li> <li>購入・廃棄による本の入れ替えは進んでいる。購入を5期に分けることで、話題の図書を早く配架することができている。</li> </ul>
学年指導	(第1学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を確立し、学習への意欲を持たせるとともに、集団生活におけるルールの遵守を徹底させる。</li> <li>HRや合同LTなどで進路について考える機会を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題への取り組みは、根気強い指導のおかげでほぼ良好であった。今後は、課題中心の学習から、生徒自身の主体的な学習へと仕向けていくための方策を探していきたい。</li> <li>類型選択をめぐって進路を考えるよい機会となったが、全体的に動きが遅かったため、もう少し早期から余裕を持って検討できればよかった。</li> </ul>
	(第2学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行に積極的に参加することにより、良いクラス・良い学年の雰囲気を作り、来年度の進路目標達成に役立てる。</li> <li>部活動や学校行事等に積極的に取り組み中核学年として活躍し自信をつける。</li> <li>進路の調べ学習を総合学習の時間やHRの時間で行い、自分の進路目標を具現化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行では各自自覚を持った行動ができ、クラスメイトや担任団と良好な関係を築くことができた。よい思い出もできて先々のよいスタートを切ることができた。しかし、友人関係をこじらせてしまう生徒が出て、3学期までひきずってしまった。クラスも担任もとても苦労した。部活動や学校行事等では先陣を切って活躍することができた。リーダーとしての自覚が少し芽生えてきた。進路については総合学習やLTを使ってそれぞれの進路目標を立てさせた。日を追うごとに進路への意識が高くなり、3年生への準備ができつつある。模擬試験や補習などにも積極的に参加している。来年度飛躍することが期待される。</li> </ul>
	(第3学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活全般において、後輩の模範となるよう意識させる。</li> <li>平日4時間、休日10時間の家庭学習時間を確保させ、確固とした実力と自信をつけさせる。</li> <li>進路LTや面接を密に行い、進路実現に伴う不安を取り除き、最後まで粘り強く努力させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーになった経験の乏しい彼らなりに積極的に前に出て、体育大会を盛り上げた。</li> <li>学校祭において、2年次の反省を生かし、意見の違いを衝突で終わらせずに調整して、集団演技と舞台の両方をやりとげた。その後の学習への切り替えも概ね良好であった。</li> <li>推薦やAO試験も受験の一手段として容認の方向を打ち出したところ、それらの受験方法を選択した生徒は例年と比べて増加したわけではなかった。後期試験も含めて粘り強く挑戦する生徒もたくさん見られた。</li> </ul>
総合評価	<p>各分掌の掲げた重点目標の達成度には、多少の差はあるものの、ほぼ良好な成果がみられた。学習面では、成績不振者について一定の改善効果はみられた。生徒指導面では、集団生活におけるルールとマナーに関し、規範意識の向上が図られたが、交通安全指導の在り方等新たな課題が出てきた。進路指導面では、機会あるごとに、進路意識を高め、生徒一人一人が納得するまでチャレンジするよう指導した。生徒会活動も学校祭の充実に向け生徒の自主的活動が進められた。しかし、家庭学習時間の増加、公共心の育成、交通事故防止、進路希望を実現するためにあきらめない指導、環境美化、防災対策、教育相談の充実、図書館の積極的利用、学習習慣の確立等、より一層の改善と工夫を進めていく必要がある。</p>		